

- SHIHU -

四風

～初日の出（大浜）～

＼ 私たちのPTA活動を紹介します！ ／

芦辺中学校PTA

芦辺中学校では、PTA生活部の取組として、年間5回（6月、9月、11月、1月の各月初めと7月の教育週間）、朝のあいさつ運動を行っています。定期的に登校の様子を見守り、あいさつや声かけを行うことで関わりを深めることを目的に、本校PTA発足当初から続いている取組です。

先日のPTA運営委員会で、「子どもたちの登校の様子が見れてよかった。」「あいさつを自主的にする子どもが多かった。」などの感想がありました。

今後も、このような活動を通して、健全な芦中生の育成につなげていきたいと思います。



朝の挨拶「おはようございます」の由来は、なんと「歌舞伎」だそう。歌舞伎役者が公演よりずっと早くから準備するのに、裏方たちがねぎらいの意味を込めて使った「お早いお着きでございます」という言葉が変化したそうです♪

那賀小学校PTA

学校教育目標

- 【か】 かしこい子
- 【が】 がんばりぬく子
- 【や】 やさしい子
- 【き】 きまわりを守る子



収穫祭

那賀小学校では毎年恒例の「秋の収穫祭」が今年も行われました。那賀小学校のテーマである「誰かに言われなくても、人が見ていなくても、良い行動ができる【真のか・が・や・き】」を目標に活動を行っています。

学校・保護者・地域の方々（農協青年部・女性部等）のご協力があり、子どもが植物を自分で育て、調理して、おいしく食べるということの大切さを学ぶことができました。まだまだ大変な時期ではありますが、子どもたちの明るく元気な声や表情に安心したと共に【真のか・が・や・き】を態度や言葉にたくさん表せるように【体からあふれる真のか・が・や・き】を目指して地域で協力し、子どもたちを見守り、PTA活動を行っています。



もちつき



やきいも



カレー作り



きなこ作り

今号の目次

- P.1 表紙・PTA活動紹介（芦辺中学校・那賀小学校）
- P.2 壱岐市PTA連合会研修部・母親部研修会
- P.3 県P研究大会（松浦市）/日P・九P研究大会
- P.4・5 壱岐市PTA研究大会
- P.6 学校紹介（芦辺小学校・鯨伏小学校）/編集後記

発行 壱岐市PTA連合会（企画・構成 広報部）

住所 壱岐市芦辺町中野郷西触362番地

電話 0920-45-3713

Mail ikil625pta@gmail.com

HP <https://iki-city.net>

※HPで活動紹介やお問い合わせを受け付けております♪



市P連HP

【第2回市P連研修部】
令和4年10月19日（水）
場所：那賀地区公民館



講師：宮本 幸成 様

今年度のテーマである「家庭でのメディア利用について」を基に、市P連研修部が開催されました。

今回は、長崎県青少年育成県民会議の事務局長である、宮本幸成先生をお招きし、「家庭におけるメディアとの付き合い方」と題し、ご講演いただきました。

近年の子どものネット依存問題や親としてどうする必要があるのか等先生自身のご家庭の状況も交えながらお話しいただき、参加者も真剣に学ぶ姿が見受けられました。

SNSを通しての被害や加害、電子メディア依存が起す脳や体のトラブルについても詳しくお話しいただきました。

家庭でのルールをしっかりと決めることが必要であり、特に睡眠時間の確保が重要だと強くお話しされ、改めてメディアとの付き合い方を考えさせられる研修となりました。



真剣な部会員のみなさん！

QRコードから研修の動画をみることができます♪



←のマークは、講師の宮本先生もご家庭のテレビに貼られているそうです。

右記URL（長崎県青少年育成県民会議HP）からダウンロードできます。



保護者のみなさまも、メディア時代の子育てについて、今一度考えてみてはいかがでしょうか。

また、各小中学校でも既にメディアについては何度か研修や講演も行っていると思いますが、何度聞いても損はないと思いますので、ぜひ宮本先生のお話をお勧めします。

今回参加した部員のみなさまは、時折「ドキッ！」とするような刺さる言葉に動揺しながらも意義のある研修となったようでした。参加されたみなさま、お疲れ様でした。

【第2回市P連母親部】
令和4年11月2日（水）
場所：那賀地区公民館



講師：松永 美子 様

第1回母親部会での意見を基に、今回は壱岐市健康増進課から2名の講師の方をお招きし、『生活習慣を振り返ってみませんか？食とメディアについて』と題して講習会が行われました。

最初に管理栄養士の松永美子様から、「朝食と共食」についての話がありました。朝食（①主食②主菜③副菜）をとる習慣は、目覚ましスリッチ（①脳②体③おなか）を起こすことに繋がること、また家族と食事をする中で、健康で規則正しい生活リズムが整っていくという内容でした。

次に、保健師の新原瑞紀様から、「子どもとメディア」についての話がありました。現在、生活の様々な場面で欠かせなくなりつつあるメディアは、小中学生の利用率・利用時間が共に増加傾向にあるとのことでした。



講師：新原 瑞紀 様

の2点について話をされました。そして、グループ協議の時間では、それぞれ印象に残ったことを付箋に書き出しました。根拠に基づく数字の話から、朝の忙しい時間での朝食の在り方に共感したり、どうやって実践していったりするとよいかという意見が出されていました。

各家庭での時間の過ごし方は様々かと思いますが、この会が生活習慣を改善してみようという機会になりました。子どもたちの体や心の成長のため、バランスのよい朝食から始めてみたいと強く感じました。

さらに、家族との有意義な時間も増やせていければと思います。

①朝日からのブルーライトを浴びる
②メディアとの付き合い方を家族で決めて、ルールを作る

それに伴い、家族との会話の減少、視力低下・睡眠不足等、心身への影響が出てきていることを挙げられながら、よい生活習慣を送るために



グループ協議の様子



新旧県P会長のトークセッション

第59回長崎県PTA研究大会松浦大会が松浦市文化会館にて開催されました。壱岐市P連からは、20名以上の方が参加し、印通寺港から唐津港へ渡り、貸切バスで松浦市へ向かいました。

まず、全体会にて開会挨拶が行われ、その後、表彰式がありました。壱岐市P連から芦辺中PTAの藤江武宏様が表彰されました。

そして、講演会は「PTAこれまでもこれから」をテーマに、県PTA本会長ほか4名の方が登壇し、PTA役員になったきっかけや、PTA活動が家族や職場に理解が得られているかどうか、現在のPTA、そして、これからのPTAをどう考えるか、といった内容について、活発な討論がトークセッション形式で行われました。

次期開催地の雲仙市による同市の観光PRなどが行われた後は、3つの分科会に分かれ、それぞれのテーマで研究発表が行われました。

【長崎県PTA研究大会 松浦大会】

令和4年11月19日(土)
場所…松浦市文化会館



県P大会に参加した壱岐市P連の皆さま

第1分科会では「おとなのつながりを深めることを目的とする分野」をテーマに平戸市立田平南小学校PTAと長崎市立戸町中学校育友会による研究発表が行われました。

両団体ともに、家庭、学校、地域がお互いに協力し合い、つながりを深めながらPTA活動を推進することが、さらなる子どもたちの健全育成につながるのと考えを、それぞれ発表されました。

また今後の課題として、個々のPTAに対する温度差や、会員間での負担の格差の改善が挙げられ、Withコロナの中でもPTA活動が行えるよう「デジタル」の活用などといった、運営の工夫が必要であると話されていました。

大会後、佐世保市内のホテルに宿泊し、久しぶりの懇親会で、会員同士の親睦も深まりました。

【日本PTA全国研究大会 山形大会】

令和4年8月26日～27日
場所…山形市総合スポーツセンター他



全国からの参加者で活気あふれる大会！

3年ぶりの対面開催となる日PTA山形大会！長崎県P連の一員として、会長の私、柴山が参加いたしました。大会テーマには、「あがらっしゃい！」というおもてなしの山形弁が入っているように、分科会、全体会共にたくさんの歓迎を受けました。

分科会では、米沢市でスキージャンプのレジェンド葛西選手の講演「夢は、努力でかなえる。」を拝聴し、メダルを触ることもできました。

また、社会や教育のデジタル化に伴う現状と課題について、パネルディスカッションが行われ、学校と家庭が連携しながら子ども達を見守ることの大切さが説かれていました。

翌日の全体会でのアトラクションや講演も素晴らしいです。

今回、日本全国から約8千人が集まりました。PTAの強い組織力や熱量、大会の詳細等は、市P連HPにも掲載しておりますので、ご覧ください。(続きはWEBで！)

【日本PTA九州ブロック 研究大会おきなわ大会】

令和4年12月17日～18日
場所…沖縄アリーナ他



寒くても、心は温かい大会でした♪

「美しい海と空はいずこに、まさかの豪雨と極寒の沖縄の地に壱岐市から5人で参加しました。

ちなみに、会長の私、柴山は壱岐発のジェットフォイルに乗り遅れ、漁船チャーターで、なんとか福岡空港から沖縄までたどり着きました。

大雨の初日に参加した名護市での分科会では、「発信と連携」がテーマに2校の発表が行われました。

その中で、北九州市大谷小学校PTAの夏休み中の子どものメディア依存防止のために実施された「子ども教室」の取組が印象に残りました。

翌日の全体会の会場は、強風の中、昨年できたばかりの沖縄アリーナ。会場のスケールに圧倒されながら、ガレッジセールのゴリさんの講演では、「僕は自分の思ったとおりに、子どもを育てようとして、失敗した。でも、その自分の失敗を子どもと分かち合うことができた。」と話され、涙あり笑いありの素敵な講演でした。

【岐阜市PTA研究大会】
令和5年1月28日(土)
場所…岐阜の島ホール

【大会スローガン】

「楽笑！」

楽しく学び、
笑顔がつながるPTA！

3年ぶりの通常開催となった岐阜市PTA研究大会が開催され、約3百名が参加しました。

【会長あいさつ】

今年度は「人と人のつながり」の大切さ、「PTAとは何か。何のためにあるのか。」を改めて考える場を設けたいと思っていました。

コロナは「人と人とのつながり」を希薄にし、PTA活動にも大きな影響を与えてきました。家庭や学校においても、子どもや大人の笑顔が少なくなったように感じます。

しかし、私たちは、PTA活動を通して学びの場を創出したり、悩みを分かち合い、共感することで子どもの健やかな成長を眼差しながら、自身の成長を図ってきました。

今後も学校、保護者、地域が連携し、子どもの笑顔をたくさん咲かせて、岐阜島中に大きな笑顔の輪をつないでいけるように共に歩んでいきましょう。(一部抜粋)



柴山 琢磨 会長

【実践発表】

「見たくなる広報誌を

目指して！」

鯨伏小学校PTA広報部

今大会では、令和3年度長崎県PTA広報誌コンクールで入選された鯨伏小学校PTA様から、広報誌づくりについてレクチャーしていただきました。

読者の目線になり、細かい部分までこだわって、工夫されてある広報誌づくりのテクニックは、私たちにあって、たいへん興味深い発表でしたので、内容をご紹介します。

＜表紙の工夫＞

明るく興味をそそるような表紙

＜写真と文字＞

写真と文字のバランスが大事写真ばかり、文字ばかりにならないようにする。

＜誌面の内容＞

①空スペースを有効活用

- ・もしスペースを作れるなら、ちよつと変わったコーナーを設ける。
- ・アンケートは参加した保護者も関心を示して見てくださるかもしれない。
- ・グラフや表の活用も効果的。

②毎回の定番内容をほんの少し工夫する。

- ・見本を見つけて参考にする。
- ・フレームや写真や文字を少し工夫する。
- ・身近なところに見本はある。



③PTAの広報誌ではあるけれど、親子で楽しめる内容にしたい、親子の会話の話題作りになったら嬉しいという気持ちで取り組む。

- ・先生紹介、新入生紹介、親子レク卒業生紹介等は親子で楽しめる内容なので、より興味を持ってもらえるよう内容を工夫する。
- ・親子レクは他学年を知るチャンスかつ、親子レクのネタの参考になる。
- ・他学年にも興味を持つことも大事。

広報づくりは大変だけど、子どもたちの活動や頑張り、先生方の支えを感じながら、学校にもっと興味・関心を持ち、頑張って作っていきましょう！



広報誌づくりに対して苦手意識を持たれている方が多いとは思いますが、活動を通じて、子ども、保護者、先生方との親睦がより一層深まり、今後のPTA活動にもつながるものと感じました。

広報誌づくりの参考になり、大変勉強になる作品発表でした。

鯨伏小学校PTA様、ありがとうございました。

【基調講演】

「楽笑人生」

歌って、笑って、涙して、あなたの華を咲かせましょう！

講師…吉松 眞理子様

講演の冒頭、懐かしい歌「なごり雪」が会場に流れてきました。

「歌うこと、眠ること、笑うこと、泣くこと、そして、しゃべることが脳にとって、とてもよいことですよ。」と話をされたのは、今回の講師、吉松眞理子様です。

吉松様は、これまでの人生で、家族の突然の病死や子どもとの不登校等を経験され、それ乗り越えてきた実体験や家族の絆を、15年に渡り、命の授業として、講演されていらっしやいます。

今回は、「親子の絆」についてお話され、「子どもは親を無条件に愛しています。親は子どものありのままを受け入れましょう！」という言葉にはとても心を打たれました。

また、「子育ては自分(親)育て！大人が人生を楽しむこと、それが将来、大人になる子どもたちの希望にもなる。泣いて、笑って、子育てを楽しんでいきましょう！」と熱く語られました。

涙を流す参加者もあり、子どもを育てられる喜びをあらためて感じることができました。吉松様、素晴らしい講演をありがとうございました。



講師：吉松 眞理子 様



QRコードから研究大会の動画をみることが出来ます！



YOSHIMATSU MARIKO
吉松 真理子

長崎いのちを大切にする会
子育て支援センター ぴよぴよ運営
長崎県メディア安全指導員

PTAを親が楽しめるように 親のつながりはきっと役に立つ

吉松さんの熱心な講演活動の
原動力は？

講演後にいただく手紙等で、
命や子育ての悩みと日々、直
面している人がたくさんいる
ことを知ってその力になりた
いから。

子育てで、許すこと、叱るこ
との大切なポイントは？

子どもと一緒に何でも楽し
み、ルールや決まりと一緒に
考えて決めること。それを守
るよう親が本気で接すること。

PTA活動のアドバイスを
お願いします。

親が楽しめる活動となるよ
うに変える所は変えてもよい
と思います。

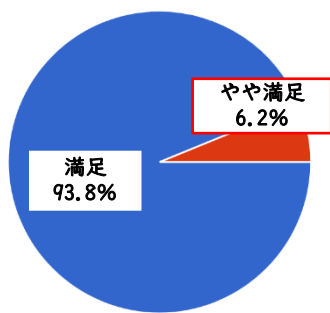
最後に、壱岐市Pのみなさんへ
エールをお願いします。

子どもが成長し、接する時
間が減った時に、PTAの繋
がりが必要役に立つはずだ
す。また、子どもは親や先生
の頑張りをよく見ています。子
どもの成長に負けないように
大人も成長しなければなり
ません。皆さん、一緒に頑張
りましょう！



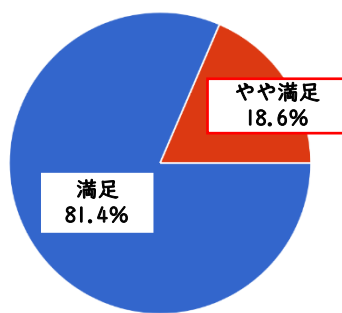
90分もの講演でお疲れの所、快く
インタビューに答えてくださいました。
大会後の懇親会では、旨助の貝柱の
天ぷらに感動されてありました♪

大会アンケート結果 ※Googleフォーム使用



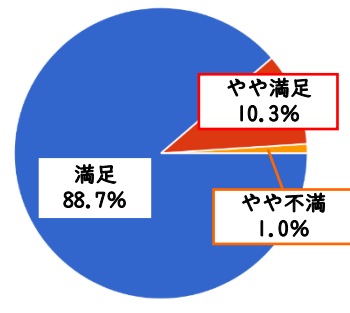
【参考意見】
「何度聞いても涙が出ます。」
「子どもたちにも聞いて欲しい。」

講演（講師…吉松真理子
様）はいかがでしたか？



【参考意見】
「もっと詳しく聞きたかった。」
「質疑応答の時間が欲しかった。」

実践発表（鯨伏小）は
いかがでしたか？



【参考意見】
「会場に来れない人にもネット中継や
ケーブルテレビで聴いて欲しかった。」

研究大会に参加していか
がでしたか？

【ご意見・ご感想】

◎吉松先生のお話は、いつも心に響き
ます。もっと子どものために頑張ら
なければいけないと思います。
しかし、それも愛情の深さだとい
うお話を聞き、肩の力が抜けたよう
な気持ちでした。まだまだそう思う
は足りないような気がしますので、
もっと子どもを包み込む余裕を持
ちたいと思います。ありがとうございます。



◎私も広報部に所属し、パソコンを
触るのが好きですが、今日の鯨伏小
学校の発表で、なるほどなと思うと
ころも多々あり、勉強になりました。
吉松先生の講演も笑いもあり、改
めて今普通に過ごしている幸せ、子
どもが産まれた時のことを思いだし、
改めて命の尊さを考え涙がとまりま
せんでした。
ぜひ、中学校や小学校でも講演をし
て欲しいと思いました。大会のス
ローガンにぴったりの研究大会でし
た。今日は貴重な時間を作っていた
だき、ありがとうございます。

◎鯨伏小学校の広報紙作りは大変勉強
になりました。吉松真理子先生の温
かい言葉は心に響きました。親こ
そ子どもから無条件で愛されている
のですね。

◎鯨伏小学校さんの広報紙はとても工
夫されたもので、見ていてなるほど
と何度も思いました。吉松様の講演
は、いのち、今生きている事の尊さ
を改めて感じ、涙が止まりません
でした。

他にもたくさんのご意見等をお寄せ
いただきました。すべてに目を通し、
来年の研究大会に活かしていきます。

＼ 私たちの学校を紹介します！ ／

芦辺小学校PTA

【学校教育目標】

やさしく・かしこく・たくましく

あ：あいさつ

し：しんせつ

べ：べんきょう

っこ：こん気



芦辺小学校は、平成29年5月1日に念願の新校舎が完成し、児童や保護者、地域の皆様の大きな喜びと誇りになっています。また、「清石の会」を令和元年度より学校支援会議から学校運営協議会へと移行し、コミュニティースクールとなりました。学校・家庭・地域が一体となり、三者が有する教育力を結集し、「やさしく・かしこく・たくましい芦辺っ子」を育む活動を推進しています。



フラワーストリート運動は、今年で10周年を迎えます。



マザーグースのみなさんの読み聞かせが楽しみです。



3・4年生は総合的な学習で地域について学びます。

鯨伏小学校PTA



<学校保健委員会講演会>

毎年どのような内容が良いかアンケートを実施し、それを基に講師や学校医の先生などにお越しいただいて、様々な方面よりお話していただき、PTAの間での意識共有を図っています。

今年度は島外より、理学療法士の杉野伸治先生をお招きし「目標達成の為に必要な生活習慣トレーニング」を講演していただきました。

<PTA奉仕作業>

今年も夏休みに、PTA、先生方、児童たちで学校周辺の除草作業や池の清掃を行いました。

綺麗な環境で2学期を迎えられるようにとの思いで暑い中みんなで頑張りました。

PTAと学校、地域の方が、ともに喜び満足を感じる理念の実現をめざして活動しています。



編集後記

広報誌後期の作成が始まったのは残暑も終わり涼しくなり始めた9月の頃でした。皆、何も分からない状態で始まりましたが、まさに今年の市P連のスローガンは「楽笑!!」ということで、広報部長はじめ役員のみなさまのご指導のもと、各部員も楽しく協力しあい、今回も素晴らしい広報誌を完成させることができました。

そして、今号を通して、読者のみなさまに今期PTA活動のご報告ができましたこと、誠に感謝申し上げます。

広報部（芦辺・勝本チーム）